



〈伊津野さん〉

自由な生活

はじめて手きぐりて出した公民館報「富合」で、姓の一字を間違えたばかりに、ある方に大変な迷惑をおかけしたことがある。

☆

……というのは、慶弔欄の逝去された方の氏名欄に、河北隆様と書くべきところを、どうして間違えたか河野隆様とやつてしまった。

☆

ところが大変、同じ部落には高校の先生でまだお若い河野隆さんが元気で勤めだ。先生のお宅には知り合いの人が驚いて飛んでくる。……もうこちらは平身低頭、お詫びのしどおし。

自由な生活

——公民館主事のうら話——

伊津野 幸人

ある婦人会員の投稿を掲載したところ「この記事は、うちの嫁が私のことば書いたつに違いなか」と、あちこちのお姑さんが腹を立てられたそう。

原稿の内容はほんとうに立派なものだっただけに、一寸意外だった。これからいろいろ起こるかもしれない。だが、駄馬は駄馬なりに、コツコツ頑張つていくつもりでいる。(富合村公民館主事)

「農家の嫁にはいきとづなな」……

先月号のこの欄にもものつていましたが、「農家の嫁なんかタ イセツパイタ。いきとづなな。」とは、今の娘さんたちの合言葉のようになっています。

農家に生れ、土に育ちながら、なぜにこうまで嫌うのでしやう。私達農家の主婦にとつては胸が痛みます。

楠口よし子

が、大体このような点があげられました。

読者の声

女子青年集会でのアンケートによると、

- 1、農家の仕事はやつてもやつてもきりが無い
- 2、個人の自由時間がない
- 3、近所の口がうるさい
- 4、休日がない
- 5、因習が強い
- 6、合理的でない

そのほかにも色々ありました

★

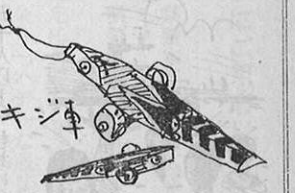
この声を聞き私の若き時代を思い浮べうに感慨無量でした。余りのつらさに、何の報いで女に生れたのか情けなく、人知れぬ涙が止めどなく、眠れぬ夜も幾度あつたことでしょう。



〈畑にてかける楠口さん〉

お母さん達にしても娘は百姓にはやらんと申されまます。それもよくわかります。だが農家から逃げ出すことよりも、農家を、農村

球磨のキジ車



父恋し 母恋してふ子のきじは 赤と青もて染められにける

北原白秋の歌にもあるこのキジ車は、おもに人吉で産出五ヶ荘に落ちのびた平家一族の、単調な生活へのうらおいと、雉子への親近感がこの素朴な造形を生み出したものといわれている。

荒削りの桐材に雉子の模様を入れて車をつけたもので、五木の子守唄に通じるほのかな哀感がある。

を、よりよく改造していくことを私達は考えなければならぬのではないのでしょうか。農村婦人の苦しみは、私達しかほんとうには理解できないのですから……。(植木町母仲会員)

ここは皆さんの体験や、ご意見などを自由に発表していただく欄です。投稿をお待ちします。(保)



協業化

農業基 本法の十 七条に協 業の助長 とある。 協業によ つて零細 農耕の力 を破り、能率を高めて、経営規模の拡大をはかり、農業所得の増大をはかるというもの。

その分業による、協業を農林漁業基本問題調査会の答申では次のように区分している。すなわち、農機具の共同利用等、農業の生産行程の一部を複数の家族経営によつてするものを「協業

組織」とよび、畜産、果樹、稲作等少くとも農業経営の一独立部門の生産行程を複数の家族経営によつて行なうものを「協業経営」とよんでいる。最近大きな話題をよんでいるのは、後者であり、いま本県下に養豚や果樹園などの部分的協業経営が三十分、開拓地などの全面的協業経営が五つある。この協業グループ(組織体)が会社や農協の設立登記をすれば、いわゆる農業法人となる。

いろいろな学説があるが、俗に共同化あるいは共同経営とよばれているものをさしているの、類語というよりも同義語といつてよい。

農業所得の増大は、農産物を何もかもたゞ量産していくことだけでは達成できない。

そこで国民所得水準が上昇する場合、それぞれの農産物の需要に、どのような変化がおこるかを検討し、さらに、国際的競争農産物との関連……などを検討して、増産すべき農産物を選択する必要がある。

例えば牛乳、肉類、果実、鶏卵などの生産に重点をおくなどがこれ。

次に、農業総産出額の増大に大きな割合を占めるもの(例えば米)については生産性の向上に努める。

また、農業総産出額に占める割合が低く、しかも

も国際的にみて割高な農産物は、また輸入依存度の高いもの(例えば小麦、大豆など)については、面積をふやして増産するよりも、合理化によるコストの引き下げをはかつていく必要がある。

このように、作目の取捨選択をし、または合理化することを要約して「生産の選択的拡大と合理化」といつている。

生産の選択的拡大と合理化



それぞれの地域は、自然的に、あるいは社会的に、いろいろと違っている。

そのような地域の特徴をつかんで、他の地域と比較検討しながら、その地域に適するように、営農の型をいくつかに類別して、これを育成しようというのが、地域別営農類型の考え方。

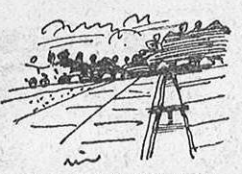
まず、その地域に最も合った作目を選ばねばならない。とともにその選ばれた二、三の作目をどう合理的

交差点

漁船の不慮の事故による損害の復旧や、更新を容易にし、漁業経営の安定化を図ることを目的として、国が再保険をする

最近漁業者の認識も深まり、沿岸各漁協役員指導も積極的になつて、漁業者の利益のために、漁協それぞれの工夫が、漁船保険指導事業の上に考えられている。

無動力から動力へ、小型から大型へ漁船がかわり、沿岸から沖合、遠洋へと漁場が移つていく時に、漁船保険制度も、経営条件構成上大きなウエイトを占めて考慮されるようになってきたことは、漁業経営合理化の点からみて、まことに頼もしく思われる。



地域別営農類型

地域に最も合った作目を選ばねばならない。とともにその選ばれた二、三の作目をどう合理的

ものによつては、そのまゝ、特産地や、あるいは主産地をかたちづくることもできるし、そうなることが望ましい。そして各農家は、まず部門別に協業化して、全面協業にまで発展させることが理想である。

漁船保険

